

## 【所信】多様性の輝き

【ひとづくり室 室長】倉片 謙太郎

青年会議所は40歳で卒業を迎える組織であるため、会員数を伸ばし続けることは容易ではありません。単に会員数を伸ばすだけでは意味がなく、次代に繋がる組織づくりが求められています。具体的には、理事候補者が多く在籍する組織づくりを目指します。組織の中核となる「理事」を志す会員や、事業構築の要となる会員が多数在籍することは、組織として健全であり、伸び代があると考えられます。このような組織を作り上げることで、総合成長できる環境を会員に提供でき、組織としての魅力が増していきます。

公益社団法人所沢青年会議所は近年、100名前後の異なる職種の会員が所属しています。各会員の得意分野は異なり、多岐にわたる専門知識が集まることがこの組織の強みとなっています。営業職や技術職、公務員、教育者など、それぞれの分野で活躍している知識や経験を活かして、ところざわの問題解決に取り組んでいます。

この特徴を持つ私たちの組織では、個々のビジネス成長の機会が生まれやすいのではないのでしょうか。事実、既にビジネスの成長機会を創出し、発展を果たしてきた会員も少なくありません。しかし、全ての会員がその機会を掴んできたわけではありません。私は、より多くの会員がビジネスの成長機会を創出し、自己成長する必要があると考えています。新たな事業戦略の提案、技術革新の支援、若手の育成などの取り組みは、ところざわの経済全体に対してプラスの効果をもたらすと考えています。よって、会員それぞれのビジネス成長は、地域経済の活性化につながり、結果として私たちの目指すまちづくりに繋がります。

次代へ繋がる組織を作り、総合成長できる環境を会員へ提供することで、私たちのまちづくり運動は加速します。また会員に対してビジネスの成長機会を創出することは、(公社)所沢青年会議所の新しい魅力のひとつとなり、組織の拡大につながります。多様性溢れる仲間を増やし、次代へ繋がる組織づくりやビジネスの成長を通し、地域経済の発展、まちづくりを行います。私はひとづくり室室長として白根副理事長のもと、ひとづくり室メンバーとともに1年間邁進してまいります。